

# 扶養控除に異動がある方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、扶養控除に異動がある場合

## 【第一表】

**手順1**  
7ページ  
参照

00 税務署長  
20年 2月 16日 平成 29 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書A

FA0113

マイナンバー  
(個人番号)を  
記入する必要  
があります。

住所 (又は居所)	〒 XXXX-XXXX	個人番号	XXXXXXXXXXXXXXXX
フリガナ	コ7セ イ タロウ	氏名	国税 太郎
性別	男	世帯主の氏名	国税 太郎
生年月日	3/49/11/16	世帯主との続柄	本人
平成30年1月1日住所	同上	電話番号	XX-XXXX-XXXX

**手順2**  
8ページ  
参照

収入金額等		(単位は円)	
給与	7140000	課税される所得金額	3266000
公的年金等		上の②に対する税額	229100
その他		配当控除	
配当		(特定増改築等)区分	
一時		住宅借入金等特別控除	
合計	5226000	政党等寄附金等特別控除	
所得金額	5226000	住宅耐震改修特別控除	
社会保険料控除	1073196	住宅特定改修・認定住宅 新築等特別税額控除	
生命保険料控除	105000	所得控除	229100
地震保険料控除	21000	災害减免額	
寡婦・寡夫控除	0000	再差引所得税額	229100
勤労学生・障害者控除	0000	復興特別所得税額	4811
配偶者(特別)控除	380000	所得税及び復興特別所得税の 源泉徴収税額	233911
扶養控除	0000	外国税額控除	
基礎控除	380000	所得税及び復興特別所得税の 源泉徴収税額	169500
合計	1959196	所得税及び復興特別所得税の 源泉徴収税額	64400
雑損控除		配偶者の合計所得金額	
医療費控除		非所得・非所得の所得及び復興特別 所得税の源泉徴収税額の合計額	
寄附金控除		未納付の所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額	
合計	1959196	申告期限までに 延納する金額	00
		延納届出額	00

**手順4**  
20ページ  
参照

**手順3**  
11ページ  
参照

還付される税金の所	銀行・金庫・組合 農協・漁協	本店・支店 出張所 本所・支所
郵便局名等	預金種別	普通 当座 振込 貯蓄
口座番号	記号番号	

**手順5**  
24ページ  
参照

**手順5**  
24ページ  
参照

区分	A B C D E F G H I J K L	年月日	通 信 日 付 印
整理		確認	
欄	納 入 欄	住 民 検 算	一 連 番 号

**手順5**  
24ページ  
参照

還付される税金がある方のみ記入します。

- 記載手順については、この記載例で示している「平成29年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを参照してください。
- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから、黒いインクのボールペンで、強く記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にあって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にあって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にあって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例①

縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記入例②

1234567890

記入例③

80000  
~~70000~~

【第二表】

(扶養控除に関する事項)

年末調整の際に扶養控除を受けていたが、子(国税一郎)には平成29年中においてアルバイトによる給与収入金額110万円(給与所得金額45万円)があった。

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際金額とは異なります。

手順1  
7ページ  
参照

手順2  
8ページ  
参照

手順4  
23ページ  
参照

手順6  
25ページ  
参照

平成29年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書A

住所 〇〇市△△町X-XX-X  
コクセイ タウ  
氏名 国税 太郎

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収額
給与	給料 〇〇産業株式会社	7,140,000	169,500
所得税及び復興特別所得税の源泉徴収額の合計			169,500

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等

扶養親族の氏名 続柄 生年月日 別居の場合の住所  
 国税 二郎子 子 2016.6.1  
 個人番号 XXXXXXXXXX  
 給与・公的年金等に係る所得以外(平成30年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る住民税の徴収方法の選択  給与から差引き  自分で納付

整理番号 FA0067

所得から差し引かれる金額に関する事項

社会保険の種類	支払保険料	掛金の種類	支払掛金
社会保険料控除	源泉徴収票(おとり) 1,073,196	小規模企業共済等掛金控除	
合計	1,073,196	合計	

所得の内訳(所得税及び復興特別所得税の源泉徴収額)

雑所得(公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項

所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等

住民税に関する事項

扶養親族の氏名 続柄 生年月日 別居の場合の住所  
 国税 二郎子 子 2016.6.1  
 個人番号 XXXXXXXXXX

損害の原因 損害年月日 損害を受けた資産の種類など

損害の種類	損害金額	保険金などで補填される金額	差引損失額のうち災害関連支出の金額

支払医療費等

寄附先の所在地・名称 寄附金

特例適用条文等

手順3  
11ページ  
参照

控除対象配偶者や扶養親族などのマイナンバー(個人番号)も記入する必要があります。

(参考) 給与所得の源泉徴収票

平成29年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受ける 者	住所又は居所 〇〇市△△町×-××-×	(受給者番号)											
		(役職名)											
		氏名 (フリガナ) コクゼイ タロウ											
		名 国税 太郎											
種別	支払金額	給与所得控除後の金額			所得控除の額の合計額			源泉徴収税額					
給与・賞与	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円			
	7 140 000	5 226 000	2 589 196	169 500									
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)			16歳未満扶養親族の数	障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数					
有 証者	老人	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額	控除の額			
○		1			1								
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額							
円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円	円 千 円			
1,073	196	105	000	21	000								
(摘要)													
生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	旧生命保険料の金額	介護医療保険料の金額	新個人年金保険料の金額	旧個人年金保険料の金額								
	25,000	35,000	90,000		25,000								
住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額								
控除対象配偶者	(フリガナ) コクゼイ リョウコ	氏名	国税 良子	個人番号	配偶者の合計所得	国民年金保険料等の金額	旧長期損害保険料の金額						
控除対象扶養親族	(フリガナ) コクゼイ イチロウ	氏名	国税 一郎	個人番号	16歳未満の扶養親族	(フリガナ) コクゼイ ジロウ	氏名	国税 二郎	個人番号	(備考)			
	(フリガナ)	氏名		個人番号		(フリガナ)	氏名		個人番号				
	(フリガナ)	氏名		個人番号		(フリガナ)	氏名		個人番号				
	(フリガナ)	氏名		個人番号		(フリガナ)	氏名		個人番号				
未成年者	外国人	死亡退職者	本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者			
支払者	住所(居所)又は所在地	〇〇区〇〇 ×-×-×			氏名又は名称	〇〇産業株式会社							
						(電話) ××-××××-××××							

【ご注意】

◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票（原本）」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。